

		授業コード		4057				
授業科目	機能看護方法2 (キャリアマネジメント) Management in Nursing 2 (Career Management)	責任教員 米増 直美 橋本 麻由里	単位数	1	科目区分	必修	科目履修	可
			時間数	30	開講セメスター	4		
目的と目標	<p>目的：看護専門職として生涯にわたり自己の能力を開発・発展させるために、看護専門職とは何か、また看護の専門性を発展させていく重要性と自己研鑽することの意義、看護専門職としてのキャリアマネジメントについて学修する。</p> <p>目標：看護専門職の責務と倫理、看護専門職としての成長・発展過程、さらに、我が国における看護専門職の育成について大学教育へと発展した歴史的経緯とその目的、学士課程教育カリキュラム内容および特徴を理解する。社会の動向をふまえた看護専門職としての基礎教育の意味や、保健医療福祉機関等での現任教育、大学院教育、さらに国際的な視点から社会資源を多面的に活用した看護専門職としてのキャリアマネジメントの構築過程を理解し、自身の生涯設計について考える。</p>							
回数	学修課題	内容並びに方法						担当教員
1	I 導入・看護専門職の概念	チームティーチングにより学生の学びをサポートします。本科目の目的・目標、セルフマネジメントとの関係性、および進め方のガイダンスを行う。「キャリア」「看護専門職」「キャリアマネジメント」について学ぶ。(講義)						米増
2	1. 看護専門職の責務と倫理	1)看護専門職とは 2)看護専門職の責任と義務 3)看護専門職の職業倫理 (グループワーク①・講義)						長屋 太田
3	2. 看護専門職としての成長・発展	看護専門職としての成長・発展過程モデル 生涯学習の意義を理解し、学び方を考える。(講義)						古澤 太田
4	3. 看護専門職のあり方	看護専門職の意味とは何かについて自らの問いをもとに考える。(グループワーク②・発表)						
5	II 看護専門職の教育課程							
6	1. 社会の動向と看護の専門性	看護専門職に求められる社会のニーズと現状から看護の専門性の向上について考える。(講義)						安田 橋本
7	2. 看護専門職の基礎教育課程	看護学基礎教育の歴史的概観から、看護を学問として学ぶ意味を踏まえ、看護専門職として目指す姿を考える。(講義)						米増 安田
8	3. 学士課程教育カリキュラム	看護系学士課程教育の目的とその特徴から、看護を学問として学ぶ意味を踏まえ、看護専門職として目指す姿を考える。(講義・グループワーク③・発表)						米増 安田
9	III 看護専門職としてのキャリアマネジメント							
10	1. 現任教育とキャリアマネジメント	現任教育の目的と方法を学び、キャリアマネジメントに活用する意味を考える。(講義)						長屋 太田・吉川
11	2. 大学院教育とキャリアマネジメント	大学院教育の目的と意義について大学院および修了後の取り組み事例を通して学ぶ。これにより大学院教育を活用したキャリアマネジメントについて考える。(講義)						橋本 授業協力者
12	3. 国際社会での看護活動とキャリアマネジメント①	国際社会における看護専門職の活動に関する講義から、キャリアマネジメントについて考える。(講義・グループワーク④・発表)						〈秋田〉
13	国際社会での看護活動とキャリアマネジメント②							〈秋田〉
14	IV キャリアマネジメントの意義 看護専門職としてキャリアマネジメントする意義①	看護専門職としてのキャリアマネジメントとは何か、また看護専門職として生涯設計を視野にしたキャリアマネジメントの方法について考える。(グループワーク⑤)						安田 橋本
15	看護専門職としてキャリアマネジメントする意義②	全体討議により看護専門職としてキャリアマネジメントする意義について考える。(グループワーク⑥・発表とまとめ)						
16	V 学習の統合 自らの生涯設計を視野にしたキャリアマネジメントの考察と課題レポート作成	【課題レポート】現時点での自分の考える看護専門職像とキャリアマネジメントについて述べ、看護専門職としてキャリアマネジメントする意義を考察する。						米増 橋本
17	VI 総括	看護専門職としてのキャリアマネジメントについて総括する。(全体討議)						米増 橋本
評価方法	授業への参加・貢献(グループワークなどへの参加状況)30%、授業終了後のミニレポート30%、課題レポート40%の配分で評価する。							
参考文献と資料	国民衛生の動向(厚生統計協会)、看護職の倫理綱領(日本看護協会)パトリシア ベナー.(1984/2005). 井部俊子 ほか(訳), ベナー看護論 新訳版 初心者から達人へ(第1版). 医学書院. 他、必要時授業にて提示							
事前準備	学習内容に示したことは事前学習を要する。							
受講要件	機能看護学概論を履修していること。							